

行動してみることで
答えが見つかることも。



千歳市

就農6年目で
農福連携にもチャレンジ。

かねこ農園/
金子昌平さん・つぐみさん

新規就農の夢を抱いても、お金の問題や一人で就農できるかなど、心配なことは尽きません。とはいえ、考えるだけでは何も進まず、僕もやりたいと思ってから3年掛かりました。肝心なのはまず動くこと！

てらしま農園/寺嶋大貴さん

失敗したり上手くいかなかったりすることを含めて、自分自身で生産から経営まで携わるのはやりがいがあり、充実感を味わえます。作物が計画通りに育って、収穫、出荷する時の嬉しさは何にも代えがたいですね！

江別市

失敗も成功も全て
自分に返ってくるのが農業。



浅井聡さん

40才でスタートし、「もう引き返す道はない」との決意で就農しました。農業は「会社のためではなく自分のため」に働き、収入も伴ってきます。サラリーマン時代には無かったやりがいを得られています。

越後さんの元で
研修を受けた
和たろのセンパイ！



自分のために働くやりがい
得られる仕事です。

札幌市

諦めない気持ちがチャンス
呼び込むはず！



橋本好恵さん・啓吾さん・花梨さん(娘)・マックス(愛犬)

私が新規就農を決意したのは50歳の時で、しかも女性ということで受け入れてくれるところがなかなか見つかりませんでした。それでもなんとかチャンスを掴んで就農できたので、諦めないキモチも大切です。

石狩市

分野を超えた出会いを
楽しんでください！

北広島市



竹内農園/竹内巧さん・愛さん

農業だけではなく、様々な業種・職種の人と新しい関係を築いていけるのも、新規就農で初めての土地に飛び込む醍醐味です。その土地ならではの出会いを楽しみ、地域づくりにも積極的に関わってみてください。

理由6 お手本になる

生活そのものが一変する
石狩で一足早く新規就農した先輩

“自分自身も商品”
というキモチで。

恵庭市

レタス一本に絞って
2020年に就農。

あかがわファーム/赤川篤志さん

農業って「個人ワーク」のイメージもあるかもしれませんが、いかに、多くの人とつながって知恵を出し合ったり、お互いに支えあったりできるかが大切。農作物を通して“自分を売っていく”ってカンジかな。

先輩農家もたくさん

新規就農には不安があっても当然。
私たち皆さんのチャレンジを歓迎しています！

ISHIKARI SENPAI'S VOICE!

運送会社のドライバーから
花農家に転身。

当別町



齊藤義也さん・真菜美さん

「農業は重労働」とイメージしている人が多いと思いますが、花の選別などはそれほど重労働ではありませんし、女性でも活躍できます。当別町は自然が豊かでのびのびと子育てをするには最適だと思います。

女性の活躍も
目立っています！

“従業員として働く”のも
選択肢のひとつ。

新篠津村



株式会社オーガニック新篠津/
福尾拓さん・綾さん

就農には、私のようにまずは会社組織に所属するという方法もあります。「農」に興味はあるけど、どんな農業が合うかわからないという人は、まずは従業員として働きながら方向性を見つけていくという道もあります。

理由

7

広がる夢をバックアップ

新規就農という目標に向かって着実に前に進んでいるふたり。でも就農はゴールではなくスタートです。「経営が安定したら、ゆくゆくは…」。石狩は、広がる夢や新しいアイデアにもチャレンジしやすい可能性に満ちたフィールドです。

たとえばこんな夢!

#1

野菜を使った商品開発にチャレンジ!

自慢の農作物に新しい価値を見出す商品開発。石狩には地域の産業を応援し、技術面のサポートを行う研究機関も揃っています。



#2

消費者に直接、農作物を届けたい!

各地の直売所で販売したり、消費者の声を直接聞けたりするのも都市に近い石狩ならではの。ホームページやSNSを活用して、ユニークな野菜を販売する農家もあります。



#3

6次産業化でファームレストランを!

料理や接客に興味があるなら、採れたてのおいしさを提供するファームレストランを経営する道も。都会からのアクセスの良さが大きな強みに。



ホンネが聞きたい!

Q. 就農後の夢は?

トマトを使った商品開発にチャレンジしてみたい!

せっかく育てた作物は一粒残らず活用したいと思ってんです(笑)。もちろん、今は研修中ですし、商品開発なんてまだ先の話なのですが、「農作物を使ったカクテルコンクール」という催しに思い切って応募してみたら、なんと優勝してしまって…。まだ就農もしていないのに、正直、怒られるかと思ったのですが、石狩の皆さんはむしろすごく褒めてくれて、「地域のイベントで売ってみよう!」と販売する機会まで作ってくれて。夢への挑戦を応援してもらえるのは、本当にありがたいと思いました。



by 佐々木さん

Q & A

新規就農の気になる疑問に お答えします!

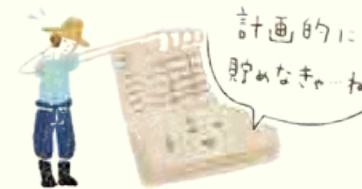
Q. お金はどれくらい必要?

私はゼロでした(笑)



私自身は大学卒業後にすぐ研修に入ったので、貯金はほぼゼロ(苦笑)。支援センターの方々と相談し、国、石狩市やJAの助成金、融資制度などをフル活用しています。もちろんある程度まとまったお金があるほうが安心だと思いますが、資金ゼロから新規就農にチャレンジする例も少なくないようです。(廣井さん)

※ミニトマトなどの施設園芸で就農する場合、一般には就農時1400万円、研修時の生活費500~600万円、合計2000万円位(自己資金、融資含む)が必要と言われています。



Q. どんな心構えが大切?

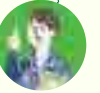
農業や農村の特徴を理解して



「今の仕事が肌に合わない」「職場の人間関係が苦手」…例えばそんな理由で農業を始めても長く続けるのは難しいかも知れません。農村では都会よりも人間関係が濃密ですし、自然を相手にする仕事ですから思い通りにならないことも日常茶飯事。新規就農を目指すには、そうした農業や農村の特徴をしっかり理解することが大切です。(支援窓口担当者)

Q. 農業体験や産地見学をする時にチェックするポイントって?

生活環境も
しっかり確認を!

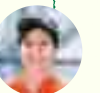


今まで一度も農業に触れたことがないという人であれば、まずは農作業そのものが自分に合うかどうか見極めることが大切です。産地見学の際は、農業についての話を聞くことはもちろん、その土地に住む可能性も視野に入れて、学校や医療機関などの生活環境もチェックしておきましょう。(支援窓口担当者)



Q. 冬の過ごし方は?

春に備えて
英気を養う時期



研修期間中は、冬は座学で農業簿記の付け方を学んだり、道立農業大学校で新規参入者研修を受けたりします。農繁期よりは自分の時間も作れるので、ショッピングや旅行を楽しむこともできますね。先輩農家さんには除雪のアルバイトをしたり、スキー場のインストラクターをしたりする人もいます。(佐々木さん)

